

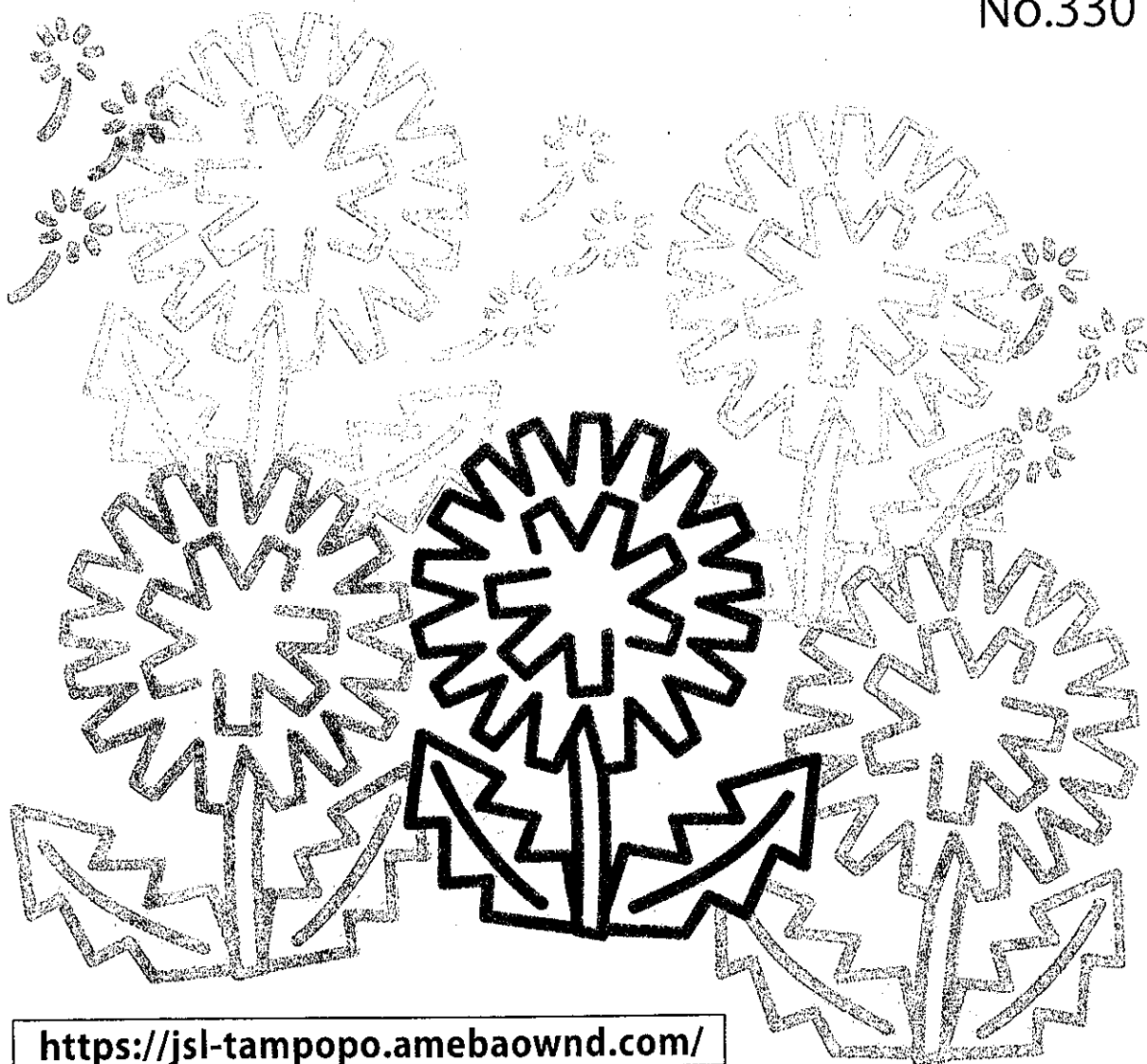
たんぽぽ

2023年度第

1

号

No.330



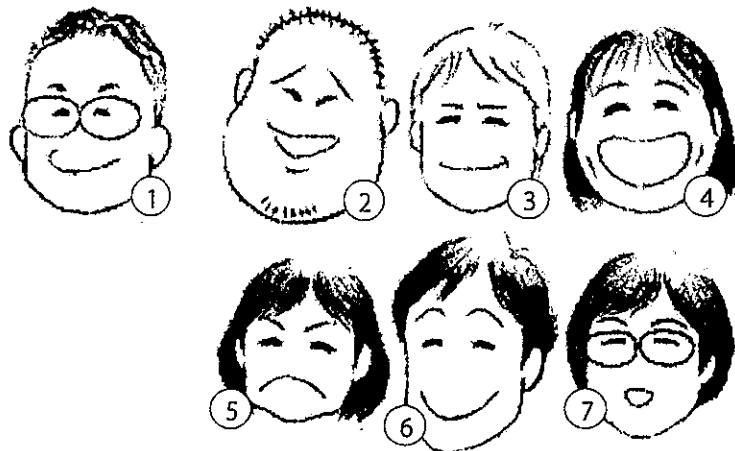
<https://jsl-tampopo.amebaownd.com/>

2023年度 役員紹介

感染者の数も減少し、新型コロナウイルス感染症の5類に移行されました。
 私たちたんぽぽの今年度の目標は「コロナ前のたんぽぽに戻る」です。
 バスハイクをはじめとした各種イベントを実行すること。
 簡素化してしまった例会も以前と同じように7時から9時を復活しました。
 23年度は、ろう者との交流が出来る楽しいサークルを、復活の年としたいと思っています。
 25年度の創立50周年に向けて推進してまいります。皆様もよろしくお祈りいたします。

- リーダー 1 大原 和男
- サブリーダー 2 秋山 孝司
- 3 高野 和子
- 4 村山 春佳

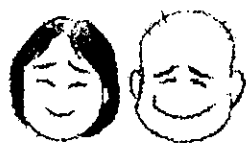
- 会計 5 此村 貴美子
- 6 斎藤 真佐美
- 7 橋本 素子



- 事務局 8 石原 昌治
- 9 江田 柚希
- 10 大森 紀子
- 11 木村 美恵子
- 12 坂本 七重
- 13 根岸 慶太郎
- 14 樋口 映子
- 15 森定 慶子
- 16 山本 多恵子
- 17 横田 静子
- 18 根岸 優



- 監事 川口 泉
- 中原 瀧三郎



※顔はイメージです

学習・班活動の紹介

●学習

「通じ合おうとする心を」大切に、積極的に学習しましょう。

基礎：指文字や自己紹介など基礎的な手話を学びます。

(初心者のために入門も立ち上げます)

コミュニケーション：ろう者との手話会話ができるよう、コミュニケーション方法を学習します。

スキルアップ・情報保障：例会内の報告などの手話通訳を経験、サークル内の情報をより円滑に技術向上を目指します。

●班活動

コロナ禍のため昨年度までは班活動を控えていましたが、復活して活動を始めます。

国際手話班：2025年のデブリピックに合わせて、国際手話を学んでいきます。

国語班：日本語「語彙」について学びます。

広報班：これまでの機関誌班とホームページに、YouTubeやInstagramなどSNS媒体も加えて、サークルの活動を幅広く紹介していきます。

他にUDトークのアプリを使つての文字通訳を学ぶ**文字通訳班**も用意しています。

また新たに班を立ち上げることもできます。(相談会に申し出が必要)

委員会の紹介

委員を募集しています。各担当委員にお問合せください。

たましろの郷世田谷委員会：ろう重複障害者施設の「たましろの郷」や「あゆむ会」の支援活動を紹介していきます。

防災対策委員：聴覚障害者の防災に関する支援を行います。

参政権保障委員：選挙の時に聴覚障害者の参政権に関する支援を行います。

都サ連：東京都手話サークル連絡協議会に加盟しており、他のサークルと情報を共有していきます。

行事の実行委員

実行委員を募集しています。各担当役員にお問合せください。

バスハイク：9月9日(土)~10日(日)群馬県川場村 1泊研修

雑居祭り：10月8日(日)梅ヶ丘羽根木公園 (予定)

烏山ユニバーサルデザインスタンプラリー：10月28日(土)千歳烏山区民ホール

土の会クリスマス交流会：12月予定



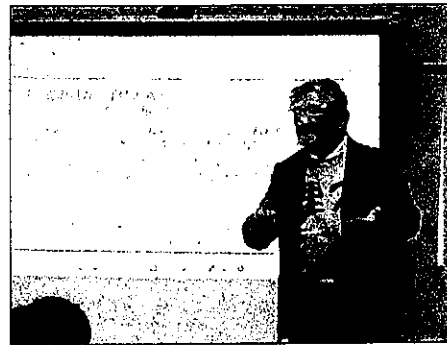
2023年度第1回講演会 (4月25日しゃれなあと)

「警察とのエピソード」

井上良貞氏

一般社団法人神奈川県聴覚障害者連盟副理事長兼福祉対策部長
青葉区聴覚障害者協会会長
2025年デフリンピックプロデューサー
一般社団法人横浜市聴覚障害者協会高齢部長

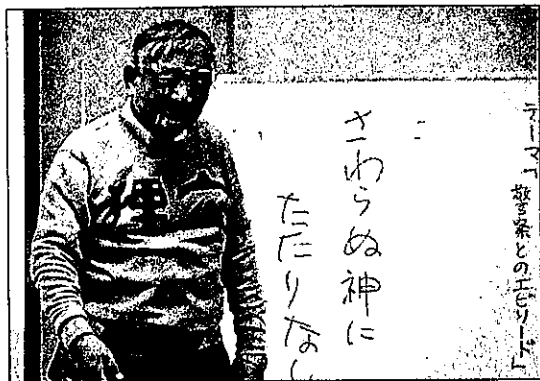
●蛇の目寿司事件の事をお聞きして、リアルで本当にびっくりしました。もっと昔の事だと思っていましたが、裁判所での様子にびっくりしました。歴史を知る事は大切だと思いました。



●裁判の話、警察とのいくつかのエピソード。大変ご苦労されたと思うのですが、とても楽しくお話をくださり、ビックリするような内容ばかりで、とても面白く見ることができました。ろう者に対する理解がもっともっと早く広まるといいと感じます。

●今までこの蛇の目寿司事件の様々な資料を見たり読んだりしました。井上さんの手話での説明は感動しました。どのような状態でろう者の被告が悔しく悲しく、切ない事件だったと思います。

どの資料を見ても、ろう者に対する偏見や差別があったと思いました。井上さんはそれを目の前で、体中を使っての手話パフォーマンスで私達に見せてもらいました。感動しました。再びこの様な悲しい事件が起きないようにと願い祈りました。



「たましろの郷を知ろう」と「オークション」

先日4月4日の例会でたましろの郷出前講座と、オークション&バザーを開催しました。オークションは輪の会で行い好評だったとのことで、参考にしました。

講師は以前たんぼぼのメンバーでもありました、浦城直子さん(たましろの郷後援会事務局)にお願いしました。

講演の内容は、たましろの郷建設運動が開始した時から落成するまでや、ろう重複障がい者の宿泊通所施設としての運営や仲間たちの活動などを詳しくお話しいただきました。

たんぼぼからも建設運動に参加した齋藤さんや中山さんからも、当時の運動のことを涙ながらに話していただきました。

入会新しいたんぼぼメンバーも多いので、たましろの郷のことを知るととても良い機会になりました。



後半のオークションは、出品物に対し購入希望金額を封筒に入れ、1番高値の方に購入していただく方法です。バザー品は手作りの七宝焼のアクセサリなど、魅力的な品も多く、沢山の方に購入いただきました。オークションも盛り上がり「また開催してよ」との声も。当日お手伝いいただきましたみなさん、ありがとうございました。<たましろの郷委員 石原>

当日の売上金です。
後援会グッズ (付箋、キーホルダーなど)

	6,700円
バザー品	21,450円
オークション	5,882円
募金箱	50円
合計	34,082円

ご協力ありがとうございました。
売上金はたましろの郷へ全額寄付しました。



例会全体会

5月から本格的に今年度の例会が始まりました。

5月2日の全体会は、4つのグループに分かれて、手話表現ではなくお得意の身振りで「国当てクイズ」「お料理当てクイズ」を行いました。

「国当て」はその国の有名なものや特徴を、「お料理当て」は真材と調理する仕草を、それぞれ身体で表しました。

積極的に相談しながら工夫を凝らして表現するのは、まさにたんぽぽらしい伝統的「芸能」?でした。

次はどんな表情を見せてくれるのか、楽しみなサークルです。

皆さんも一緒に参加してみましよう!



今後の予定 ※予定は都合により変更になることがあります

●6月

6	火	例会：全体会	16日(金) 相談会
13	火	例会：学習	
20	火	例会：班活動	
27	火	例会：学習	

●7月

4	火	例会：全体会	21日(金) 相談会
11	火	例会：学習	
18	火	例会：班活動	
25	火	例会：学習	

・活動時間 19:00~21:00

編集後記

コロナ禍から脱して普通の生活に戻り、新年度が始まりました!

新しいメンバーと共に、役員も増え、

さらなる活動で、気持ちも新たにスタートしていきましょう。<YU>

23.4.23

都サ連通信

発行 東京都手話サークル連絡協議会

代表 高田 直樹

http://tosaren.jp

tosaren_info@ybb.ne.jp

FAX: 03-3961-2445

『第52回耳の日記念文化祭』報告

第52回「耳の日記念文化祭」が、2023年2月25日(土)と26日(日)の2日間で開催されました。今回のスローガンは、『手話言語条例とデフリンピックで東京を変えよう!』

会場は2か所で、25・26日東京都障害者福祉会館では、講演会(植野圭哉氏、砂田アトム氏)や書籍販売、展示などを、26日みなとパーク芝浦のリーブラホールでは「ヒゲの校長」の上映(3回)を行いました。

2日間で延べ1,585名の来場者がありました。これは、昨年の2倍の数です。加盟サークルからは前日準備を含め、3日間で延べ78名の方に要員としてご協力をいただきました。また、前売り券の販売に関しましても、都サ連販売分で100枚ものご協力をいただくことができました。ありがとうございました。映画観覧券の販売方法については、直前までいろいろな情報が行きかうことになり、皆さんをハラハラさせてしまいました。申し訳ございません。反省点は、次回に生かすと共に、これからも、より魅力ある耳の日を目指して、実行委員(東聴連、都サ連、東通研)の連携を更に深めていきたいと思っています。皆さんのアイデアをドシドシお寄せください。お待ちしております。

(耳の日実行委員 杉本)

*来場者数(東京都障害者福祉会館)

25日: 861人

26日: 724人、2日間合計: 1,585人

ヒゲの校長(リーブラホール)

388人

耳の日記念文化祭 参政権保障委員会報告

2月25日(土)・26日(日)耳の日記念文化祭が開催されました。参政権保障委員会としても参加して、選挙に関するクイズを行いました。

参考までにいくつかクイズの内容をお伝えしますね。

- Q1 投票日は日曜と決まっているのか?
 ① 日曜日と決まっている ② 大安と決まっている ③ 特に決まっていない
- Q2 期日前投票の理由として認められているものはどれ?
 ① 旅行 ② 仕事 ③ 結婚式
- Q3 選挙期間中に駅前で言われている街頭演説。認められているのはどれ?
 ① 演説者の横に手話通訳を配置し、通訳する
 ② 筆談で個別に演説内容を伝える
 ③ 演説者の話す内容を文字情報で(スクリーン等に)全てを表示

こんなクイズをやりました。

参加していただいた皆さんからは「へー」「勉強になった」「楽しかった」など感想をいただきました。令和5年度は、統一地方選挙が予定されています。これから私たちの周辺も慌たしくなりますが、聞こえない人が聞こえる人と同じように選挙に参加できているのか?そんなことを頭に置きながら選挙に注目していただければと思います。お気づきの点があった場合には本委員会まで声をお寄せください。高田代表と堀事務局員がメンバーです。(新しいメンバーも募集しています。一緒に活動しませんか)

ちなみにクイズの答えは

Q1: ③ Q2: ①②③ Q3: ①②です。

(担当: 堀)

第52回耳の日記念文化祭の参政権保障委員会の展示は、派手さはないものの手作り感があって、会場から出てきた人の話を聞くと、「見て良かった」「見る前までは興味がなかったが勉強になった」など非常に評価が高かったと思います。あと展示は、デフリンピックがあっただけでした。耳の日記念文化祭なのに毎年参加していた中難協や言うの会の展示・体験がないのに、将棋はあるのはなんで?と思ってしまいました。

耳の日記念文化祭が講演と物販に偏ってきているのでは?とついつい余計な心配をしてしまうのですが、高齢部が販売していた黒豆茶はおいしかったです。また来年も買おうと心に決めました。

『第24回東京都の

ろう教育を考えるフォーラム』報告
(主催：東京都のろう教育を考える会)

第24回東京都のろう教育を考えるフォーラムが、2023年3月12日(日)にオンライン(ZOOM)で開催されました。参加者は71名です。

第1部の基調講演は「(東京都)手話言語条例とこれからの東京のろう教育」をテーマに、越智大輔東京都聴覚障害者連盟事務局長の基調講演がありました。その後の第2部では3人の講師からそれぞれお話を伺ったのびシンポジウムが行われました。

関根 久美子氏(都立大塚ろう学校乳幼児教育相談担当、言語聴覚士)は、ろう学校から見える子ども達の現状とこれからの展望をお話してくださいました。

子ども達をとりまく状況は必ずしも整っていないことありますが、環境が整えば聞こえなくとも学力がついていき、学びが深まって行くと言う実践を紹介してくださいました。

大阪での聴覚障害児が巻き込まれた痛ましい事故のお話では、『将来得られたはずの収入「逸失利益」について、全労働者の平均年収の85%をもとに算出するのが相当』と判断した裁判所の判決がいかにも不当であるかも、熱くお話しされていました。子ども達のそばにこんなにも熱意のある方がいることに胸が熱くなりました。

河崎 佳子氏(神戸大学教授)は、大阪の「こめっこ」の設立過程と「乳幼児が正しい手話の文法や文化に触れること」を大切に活動されていることをお話しされました。

「こめっこ」の由来は、「コミュニケーションの芽をはぐくんでいく」という意味だそうです。「こめっこ」では、聞こえない子どもたちが家族と共に「目で見てわかる」手話ということばに出会い、さまざまな体験を通してコミュニケーションの芽をはぐくんでいます。大阪では聞こえない子どもとその保護者の子育てを支援する体制がととのっていることがよくわかりうらやましくなりました。『東京にもぜひ!』と思われた参加者も多かったようです。

守本 倫子氏(国立成育医療研究センター小児外科系専門診療部部長)は医師の立場から見る聞こえない子の言語獲得の様子についてご講演されました。日常的に子どもの聞こえに向き合うひたむきな姿勢や、詳細な医学的分析はとても興味深いものでした。

第2部のコーディネーターは越智大輔氏で、3人の講師と参加者をつなぐシンポジウムも見事なもので、「東京都手話言語条例が可決された今こそ!」の熱い思いになりました。参加者一人ひとりが深く考える良い学びの時間となりました。(担当：松下)

新年度がスタートしました。みなさまのサークルにおかれましてはコロナによる感染が落ち着いている今、徐々にサークル活動をコロナ前の日常に戻しつつあるのではないのでしょうか。また感染症の分類が2類から5類に変更される5月から食事会や飲み会を再開されるサークルもあるかもしれません。

4月になってやっと東京都や全日本ろうあ連盟が2025東京デフリンピックに関して『デフリンピック運営委員会』を発足させ情報の公開を始めました。

とはいえ東京デフリンピックまであと2年と迫っていますがまだまだ盛り上がりには欠けていると思います。みなさまは個人としてサークル員として、また都サ連として一体どのような協力ができるのでしょうか?

お金が必要というのは百も承知ですが、手話サークルとして都サ連ってお金持ちの集まりでしたっけ?(ひょっとしてお金がないのは私だけ?)

となるとやれることは「知る」ことなんですよ。

自分の暮らす地域(町・区・市・都)でデフスポーツをやっているのは誰?なのか、そしてそのデフスポーツ選手を応援すること。また近くでデフスポーツ大会が開催される時は、個人としてサークルとして応援に行くこと。そして応援に行かれた会場でスポーツ団体のろう者や他の手話サークルと交流しデフスポーツを盛り上げていくことくらいはできそうかな?と思います。

とかく2025東京デフリンピックという大会期間中に何ができるかを考えがちですが、デフリンピック前にもやれることはありそうです。

4月23日(日)の担当者会議の前に「せっかく府中に来るのなら大國魂神社を案内したい!」と多摩南ブロックから申し入れがあり見学ツアーが実施されました。なかなか府中を訪れる機会がない人にはありがたい企画です。このような担当者会議に付加価値をつける提案は大歓迎です。2ヶ月に1回とはいえ担当者会議に参加すると半日は潰れてしまいます。なので担当者会議に参加すると何かいいことがあると思えるような企画・提案待ってま〜す。あと反省というか前回2月の担当者会議ですが、不慣れな初めての会場なので早めに行くために最寄り駅周辺には食堂はおろかコンビニもなく目の前が真っ暗になりましたとのご意見を多数いただきました。みなさん血糖値が上がってくらくなるほどお腹をすかせて来なくても良いのにとは思いましたが、担当者会議の会場が遠い場合遅刻をしないように早めに現地に行って会場を確認した後安心して昼ご飯を食べるという方が多いのだと思いました。そのような方には前回の東急大井町線「下神明」駅は強敵だったにちがいません。ですので今後めったにないとは思いますが担当者会議の会場周辺に食事をする場所がない場合は開催通知にその旨記載してもらいます。逆におすすめのレストランがある場合は例えば「駅前食堂」の「ホタテのバター焼き定食」が絶品!とか「駅前パン屋さん」の「あんドーナツ」は食べなきゃ後悔する!などの情報があれば担当者会議が待ち遠しくなりませんか?もちろん担当者会議の内容をより充実したものにするのは当然の事ですが、ただ参加して帰るだけではもったいないと思います。みなさんで楽しい担当者会議にいきましょう。

(広報班：藤井)



たんぼぼマッポ

例会：毎週火曜 夜7～9時
(見学はいつでも自由で可。直接会場へ)

連絡先…
世田谷区教育委員会事務局
生涯学習課
たんぼぼ学級担当まで
Tel. 03-3429-4259 (Fax.03-3429-4269)
世田谷区弦巻3-16-8
世田谷区教育会館

手話サークル機関誌 たんぼぼ
発行日：2023年5月30日(火)
発行：手話サークルたんぼぼ 発行責任者：大原 和男

